

もやもや病について

もやもや病は小児(学童期)と成人(40歳前後)に発症する病気で、その発症様式に多少異なる部分があります。小児の発症は多くは虚血性発症で脳梗塞症状での発症が多く、成人では脳出血と脳梗塞の両者の発症の仕方があります。手術的治療としては、いずれも血行再建術ですが、小児では間接血行再建術が中心で可能なら直接血行再建術を可能な限り行います。成人では、基本的に直接血行再建術を行い、同時に間接血行再建術も行っておきます。